No.	E3

2022年度第98回天皇杯・第89回皇后杯全日本バスケットボール選手権大会
香川県代表決定戦

競技日	令和 4 年 5 月 1 日（日）	会場	ツインパルながお
開始時間	13 時 00 分 開始	競技種別	女子決勝
審判名	CC 田中 豊弘 U1	久保 理恵 U2	藤原 紘子

明善クラブ	61	14 — 7 16 — 26 12 — 21 19 — 16	70	TOS FIVE

チーム名	明善クラブ					
No.	選手名	得点	3P	2P	FT	反則
4	井内 和代					
5	林 千恵					
6	苧阪 悠希	10		5		3
7	田中 亜美	9		4	1	2
8	永井 智恵					
9	平井 瑞希					
10	山下 朋代					
11	徳田 悠来					
12	佐原 美都					
14	池本 恵利納					
15	濱 祐希奈	8		4		2
16	池田 千紘					
17	山本 志穂	25	1	10	2	4
18	松本 眞和					
19	高木 明日加	9	1	3		4
コーチ	山下 朋代					
A・コーチ	濱 祐希奈					
		61	2	26	3	15

チーム名	TOS FIVE					
No.	選手名	得点	3P	2P	FT	反則
0	宮武 麻里	18		7	4	2
1	足立 明日翔					
2	松原 唯	8	2	1		3
5	藤川 奈央	10	3		1	
10	山口 穂乃佳	10	2	2		2
13	恒吉 亜季					
23	春名 弥世衣	11	1	3	2	3
25	奥野 結菜	13	3	2		2
27	四宮 礼香					
31	山崎 里莉					
コーチ	宮武 麻里					
A・コーチ	織野 智成					
		70	11	15	3	12

【戦評】

1Q：両チームともマンツーマンディフェンスでスタート。立ち上がりは両チーム固さが目立つ展開。TOSFIVE（TOS）＃0の3Pでリズムをつかみかけたが、明善クの堅い守りから連続で速攻が決まり12-5と逆転、TOSがタイムアウトを請求。その後も膠着状態が続き、明善クが14-7とリードして終了。
2Q：明善クは#17のドライブインからリズムをつかみ有利に試合を進める。一方、TOSも#2の連続3Pを決めて追いすがる。さらに、TOS#0のポストプレーも決まりだし、再び一進一退の展開となる。TOSは、残り1分、#0のゴール下バスケットカウントが決まり同点に、残り10秒で#5の3Pで逆転。TOSが33-30とリードしてハーフタイムを迎える。
3Q：明善クに固さが目立つ中、TOSは#25、#5、#10が立て続けに3Pを沈めリードを広げる。明善クも#19の3Pなどが単発で決まるが、TOSの堅い守りに苦しむ。TOSは#0のゴール下が効果的に決まり、54-42とリードして最終Qを迎える。
4Q:序盤からTOSが堅い守りから#25のドライブインなどで着実に加点。明善クに反撃の余力はなく、中盤以降もTOS#10、#0が効果的にシュートを決めるなど試合を優位に進める。
結局、ゲーム中盤からのリードを守り切ったTOSFIVEが70－61で勝利し、2年連続2度目の栄冠に輝いた。

記載者	三本康一朗

一般社団法人香川県バスケットボール協会